

## とことんフランスな多文化共生セミナーを開催



講師 シオルティノ・サビヌ氏

1月17日(土)ふれあいセンターごだいにおいて、第5回多文化共生セミナー「LOVE JAPAN ～日本に暮らす外国人として～」を開催しました。

今回はフランスをテーマに、講師にシオルティノ・サビヌ氏をお迎えし、日本とフランスの関係について、フランス語で講演していただきました。フランスと日本は、地理的距離があるにも関わらず両国間が密な関係であることについて、歴史や文化・芸術の面において多くの共通点や類似点がたくさん存在し、古くより両国民の心の距離は近い



関係にあり、地理的距離を越える結びつきがあると講演。講演後は、フランス菓子を味わいながら参加者と交流しました。

市内外から集まった130名の参加者で会場はいっぱい

## 国際理解支援事業 菅谷小学校へ外国人講師を派遣

那珂市国際交流協会では、国際理解支援事業として、外国の言葉や文化にふれる機会を提供し、国際的な理解や関心を深めてもらうきっかけとなることを目的に、市内の小中学校や幼稚園、各種団体等へ外国人講師を派遣しています。

10月22日(水)、菅谷小学校の5年生の授業において、中国出身の高岡麗さん、フィリピン出身の楠本ジャネットさん、タイ出身の中嶋ラリントンさんが授業を行いました。3つの国について学べるよう、児童77名が3つのグループに分かれ、それぞれの国を訪問するように講師の待つ教室へ移動し、中国、フィリピン、タイについて理解を深めました。



〈タイ 中嶋さん〉国旗の色や意味について、クイズをしました。



〈フィリピン 楠本さん〉写真を見たり、新聞紙を使うあそびをしました。



〈中国 高岡さん〉「きらきら星」を中国語で歌いました。

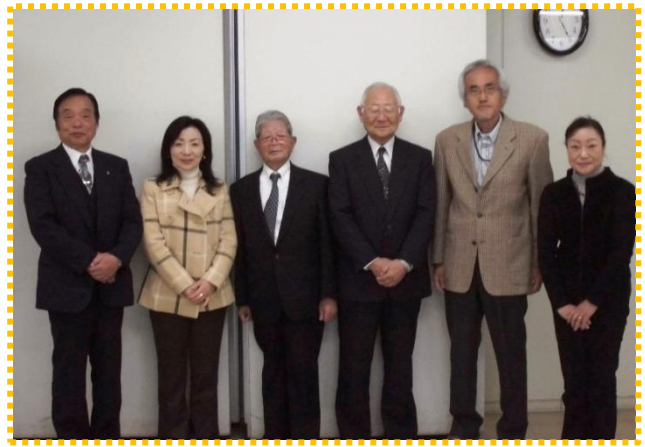
## 甲斐国際交流協会のみなさんが研修に来市

山梨県の甲斐市で国際交流活動を行っている甲斐国際交流協会のみなさんが、11月25日（月）来市し、姉妹都市との交流事業について当協会と意見交換を行いました。甲斐国際交流協会では、アメリカアイオワ州キオカック市及びオーストラリアニューサウスウェール州にあるタラマラハイスクールと交換交流を行っており、同様の交換交流事業を行っている当協会でのノウハウを学び、参考にしたいとの申し出を受け、当市において意見交換研修会を開催する運びとなりました。

両協会長のあいさつ後、当協会からオークリッジ市との交流の経緯、交換交流事業の概要について説明後、甲斐国際交流協会から、交流事業の課題の共有とその解決策などについて意見を求められました。また、姉妹都市交流事業のほかにも、当協会の主催事業の多様性や、外国人住民との交流事業が活発かつ継続的に行われていることに大変関心され、当協会の運営方法や活動状況から多くのことを学ぶことができたとの感想をいただきました。このような研修会は今回が初めてでしたが、両協会の今後の発展を期待できる有意義なものとなりました。



山梨県甲斐市から、5時間以上かけておいでになりました。小松会長以下14名



左から 川口副会長(甲斐)、森島副会長、小松会長(甲斐)、高島会長、金井サブリーダー、小澤サブリーダー

## 国際交流活動支援事業 ガールスカウト茨城県第37団がオークリッジへ

那珂市国際交流協会では、国際交流事業を推進する市内団体等に対し、活動費用の一部を補助する支援事業を行っています。

ガールスカウト茨城県第37団は、那珂市と姉妹都市であるオークリッジ市内のガールスカウトと10年来の交流があります。発団15周年並びに交流10周年を記念して、7月28日から8月4日まで、中学生以上のスカウトをオークリッジへ派遣し、オークリッジ市のスカウトと合同野外訓練やホームステイをとおした交流を行い、友情を深めました。



日 程	
7/28	出発、歓迎夕食交流会、ホームステイ
7/29	市内見学、歓迎レセプション、ホームステイ
7/30~31	オークリッジ市内キャンプ場にて合同野外訓練
8/1	ホストファミリーとの交流、ホームステイ
8/2	フェアウェルパーティー、ホームステイ
8/3	オークリッジ発 帰路へ
8/4	那珂市着

## タイの高校生が日本文化を体験



←弓道体験

↑大洗にて砂浜体験

10月27日（月）、タイのヴィエンチャイ・ピッタヤム高校の生徒ら14名が日本文化体験を行いました。ヴィエンチャイ・ピッタヤム高校は、市内にある水戸農業高校と平成4年から交流を続けており、同校学校長以下生徒11名と教員2名が10月20日（月）から11月2日（日）まで水戸農業高校の生徒宅にホームステイするのに合わせ、当協会では日本文化に触れる機会の提供に協力しました。はじめに、市内の弓道場を訪問し、弓馬術礼法体験をさせていただきました。弓道の概要説明のほか、音の出る弓を放つ「曇目の儀」、杉又は桧の板的を用いる「三三九手挟式」、草を束ね鹿を形作った的で稽古をしたことが始まりとされる「草鹿式」を披露いただきました。日本人にとっても滅多に見ることのできない演武を、迫力を感じられる距離で見学することができました。また、「直垂」「水干」「小素襖」の着付け体験もさせていただきました。

そのほか、施設見学と砂浜体験で近隣町村を訪問。海から離れた地域に住むタイの生徒たちは、初めて見る日本の海を目の前に砂浜体験を楽しみました。

## 国際交流のつどい 日本文化探訪～福島県～

11月9日（日）、国際交流協会会員と外国人との親睦と交流を図り、相互の文化に対する理解を深めることを目的に、「国際交流のつどい 日本文化探訪バスツアー」を実施しました。

今回は、東日本大震災復興支援を兼ねて、福島県を訪れました。まずは、大河ドラマで取り上げられ人気となった会津藩校日新館へ向かいまいした。会津藩士のこどもたちが、礼法、武術、書学や「ならぬことはならぬ」などの仕の掟を学んだ場所を見学しました。

続いて、鶴ヶ城を見学。東日本最大級の天守閣の展望フロアーまで上がり、会津藩士の眺めた景色を楽しみました。最後はりんご狩りを体験。もぎたてのりんごを口にするとフレッシュでさわやかな甘みが口いっぱいになり、日本産果物の品質の良さを感じることができました。当日はあいにくの小雨まじりの天気でしたが、参加された皆さんは、山燃ゆる秋、色鮮やかな紅葉を楽しみながら、福島で「日本の魅力」を堪能しました。



1号車のみなさん（日新館にて）



2号車のみなさん（鶴ヶ城にて）

## 国際親善姉妹都市オークリッジ市の「友情の鐘」鐘楼建設にご協力ください。

友情の鐘は、日米両国間の深い理解と永久の平和を願う記念鐘楼として、那珂市と姉妹都市であるオークリッジ市のシンボルとなっており、同時に、那珂市・オークリッジ市の友情を象徴するものとして、大切にされているものです。

現在、老朽化により鐘楼が取り壊され、友情の鐘が地面に置かれている状況下であり、オークリッジ市内では、新しい鐘楼を建てるため、募金活動が行われています。那珂市国際交流協会では、この鐘楼建設にご協力いただける方からのあたたかいお気持ち（寄付）をお受けしております。

受付期間：平成27年2月27日（金）まで

金額：1口…1,000円以上

受付場所：那珂市国際交流協会事務局

（那珂市役所 市民生活部 市民協働課内）



← 現在の状況

地面に置かれ、友情の鐘を  
突くことができません。

## 国際交流サロンを開設しています

那珂市国際交流協会では、外国人が気軽に立ち寄り、生活相談や交流ができる国際交流サロンを開設しています。

### ◆日時

毎週木曜日 午前10時～午後4時（昼休み1時間）

※年末年始、中央公民館の休館日は開設しません。

### ◆場所

那珂市中央公民館 図書閲覧室の一部

### ◆内容

○暮らしの相談（相談機関の紹介）

○日本人や外国人との交流

○異文化の紹介

○各種情報のパンフレット等設置

※サロン内での飲食はできません。

### ◆対応言語

日本語、英語



那珂市国際交流協会ホームページ



## ☆☆☆☆☆ 那珂市国際交流協会の会員 及び サポート委員 募集中! ☆☆☆☆☆

那珂市国際交流協会は、平成2（1990）年に那珂市の円滑な国際化の推進を目的として発足しました。以来、オークリッジ市との国際親善姉妹都市提携をきっかけとした両市民の交流などを行ってきたほか、市内外にお住まいの外国人の皆さんとの交流事業、多文化共生理解推進事業等を行っています。

平成26年12月現在、個人会員250名、団体会員30団体が加入しています。会員及びサポート委員を随時募集していますので、ご希望の方は国際交流協会事務局までお気軽にお問い合わせください。

**個人会員年会費 2,000円、団体会員年会費 10,000円（1口以上）**

### 《那珂市国際交流協会事務局》

茨城県那珂市福田1819-5 那珂市役所 市民生活部 市民協働課内

TEL:029-298-1111(内線264) / FAX:029-352-1021 / E-mail:shimin-k@city.naka.lg.jp

ホームページ: <http://business2.plala.or.jp/ieanaka/>

那珂市国際交流協会

で

検索

